

| | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|----|--|--|--|--|
| 大分工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成31年度(2019年度) | 授業科目 | 音楽 | | | | |
| 科目基礎情報 | | | | | | | | |
| 科目番号 | 31M113 | 科目区分 | 一般 / 選択 | | | | | |
| 授業形態 | 実技 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | | | | | |
| 開設学科 | 機械工学科 | 対象学年 | 1 | | | | | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | | | | | |
| 教科書/教材 | なし | | | | | | | |
| 担当教員 | 五嶋 和子 | | | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | | | |
| (1) 楽典の基礎知識を理解し、それを自分の演奏に生かすことができる（定期試験と演奏発表） | | | | | | | | |
| (2) いろいろな音楽形態があることを知り、実際に演奏を体験する（演奏発表） | | | | | | | | |
| (3) 演奏を通じて友人とのコミュニケーションを深め音楽を楽しむ（演奏発表） | | | | | | | | |
| (4) 国、ジャンルによる音楽の違いにふれ、国際的な広い視野をもつ（感想文） | | | | | | | | |
| ルーブリック | | | | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | | | | |
| 評価項目1 | 楽典の基礎知識を理解し、それを他者と共有することができる。 | 楽典の基礎知識を理解し、それを自分の演奏に生かすことができる。 | 楽典の基礎知識を理解し、それを自分の演奏に生かすことができない。 | | | | | |
| 評価項目2 | いろいろな音楽形態があることを知り、実際に演奏することで違いを認識できる。 | いろいろな音楽形態があることを知り、実際に演奏を体験できる。 | いろいろな音楽形態があることを知つても、実際に演奏を体験できない。 | | | | | |
| 評価項目3 | 演奏を通じて演奏者や聴衆とのコミュニケーションを深め音楽を楽しむことができる。 | 演奏を通じて友人とのコミュニケーションを深め音楽を楽しむことができる。 | 演奏を通じて友人とのコミュニケーションを深め音楽を楽しむことができない。 | | | | | |
| 評価項目4 | 国、ジャンルによる音楽の違いにふれ、国際的な広い視野をもち、それらについて他者に伝えることができる。 | 国、ジャンルによる音楽の違いにふれ、国際的な広い視野をもつことができる。 | 国、ジャンルによる音楽の違いにふれ、国際的な広い視野をもつことができない。 | | | | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | | | | |
| 学習・教育到達度目標(A1) | | | | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | | | | |
| 概要 | いろいろな演奏の体験やCD, DVD等の鑑賞を通して、楽典の基礎知識を身につけ、音楽の楽しさを知る。 (科目情報) 授業時間 21.75時間 関連科目 政治・経済 | | | | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 定期試験とクラスコンサートで評価する。授業の後半は、クラスコンサートの練習と発表にあてる。 (再試験について) 実施しない。 | | | | | | | |
| 注意点 | (履修上の注意) 演奏の体験や鑑賞を通して、人類共通のものとしての音楽に親しみ、自分で表現する喜びを知り、人へのいたわりの気持ちをもつよう指導する。 (自学上の注意) クラスコンサートに向けて、各自で演奏の練習をすること。 | | | | | | | |
| 評価 | | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | | | | |
| 前期 | 1stQ | 1週 楽典（音楽の基礎知識） | 楽譜の読み方を理解し、校歌やその他の楽曲を歌ったり、楽器（ピアノ、ギター、ドラム、その他）を演奏したりする。 | | | | | |
| | | 2週 校歌 | 楽譜の読み方を理解し、校歌やその他の楽曲を歌ったり、楽器（ピアノ、ギター、ドラム、その他）を演奏したりする。 | | | | | |
| | | 3週 合唱 | 楽譜の読み方を理解し、校歌やその他の楽曲を歌ったり、楽器（ピアノ、ギター、ドラム、その他）を演奏したりする。 | | | | | |
| | | 4週 楽器演奏 | 楽譜の読み方を理解し、校歌やその他の楽曲を歌ったり、楽器（ピアノ、ギター、ドラム、その他）を演奏したりする。 | | | | | |
| | | 5週 楽器演奏 | 楽譜の読み方を理解し、校歌やその他の楽曲を歌ったり、楽器（ピアノ、ギター、ドラム、その他）を演奏したりする。 | | | | | |
| | | 6週 CD, DVD鑑賞 | いろいろなジャンル、国や地域、また時代による音楽の違いをCDやDVDの鑑賞又は実際の演奏によって理解する。 | | | | | |
| | | 7週 CD, DVD鑑賞 | いろいろなジャンル、国や地域、また時代による音楽の違いをCDやDVDの鑑賞又は実際の演奏によって理解する。 | | | | | |
| | | 8週 CD, DVD鑑賞 | いろいろなジャンル、国や地域、また時代による音楽の違いをCDやDVDの鑑賞又は実際の演奏によって理解する。 | | | | | |

| | | | |
|------|-----|----------------|--|
| 2ndQ | 9週 | [前期中間試験] | |
| | 10週 | クラスコンサートの練習・発表 | クラスコンサートに向けて自分の決めた形態での演奏を練習する。それを通して友人とのコミュニケーションを深めまた音楽を聴いたり、体験する喜びを知る。 |
| | 11週 | クラスコンサートの練習・発表 | クラスコンサートに向けて自分の決めた形態での演奏を練習する。それを通して友人とのコミュニケーションを深めまた音楽を聴いたり、体験する喜びを知る。 |
| | 12週 | クラスコンサートの練習・発表 | クラスコンサートに向けて自分の決めた形態での演奏を練習する。それを通して友人とのコミュニケーションを深めまた音楽を聴いたり、体験する喜びを知る。 |
| | 13週 | クラスコンサートの練習・発表 | クラスコンサートに向けて自分の決めた形態での演奏を練習する。それを通して友人とのコミュニケーションを深めまた音楽を聴いたり、体験する喜びを知る。 |
| | 14週 | クラスコンサートの練習・発表 | クラスコンサートに向けて自分の決めた形態での演奏を練習する。それを通して友人とのコミュニケーションを深めまた音楽を聴いたり、体験する喜びを知る。 |
| | 15週 | 前期期末試験 | |
| | 16週 | 前期期末試験の解答と解説 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|----|----|------|-----------|-------|-----|
|----|----|------|-----------|-------|-----|

評価割合

| | 試験 | クラスコンサート | 合計 |
|---------|----|----------|-----|
| 総合評価割合 | 50 | 50 | 100 |
| 基礎的能力 | 50 | 50 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 |